



本村幼稚園 9月の園だより

令和4年9月1日 港区立本村幼稚園長 山村 登洋

どんな2学期になるか ワクワクドキドキがいっぱい

園長 山村 登洋



本日、42日間の長い休みを終えて子供たちの元気な声が幼稚園に戻ってきました。今年は3年ぶりに新型コロナウイルスによる行動制限がない夏休みとなりました。今年もとにかく暑い暑い夏でした。夏後半は天候が安定しない日も続きましたが、皆様はどのような夏を過ごされたでしょうか。

さて、2学期は夏休みの経験を経て、一年の中で子供たちの成長が一番見られる時期です。2学期も子供たちにとって、ワクワク、ドキドキの行事や活動が目白押しです。それら一つ一つをじっくり味わい、楽しみ、達成感を感じながらステップアップして行ってほしいと期待しています。

特に2学期に子供たちに期待することは2つです。1つ目はどんなことでもよいので「チャレンジ」してほしいということです。結果は成功、失敗に関係なく、成功は次への飛躍に、失敗は修正して再挑戦というように成長の一步を進んでもらいたいです。その小さな一歩、一歩が子供たちの自己肯定感の向上に繋がると感じています。



2つ目はチャレンジすることだけに限らず「できる」ことを増やしてほしいということです。幼稚園生活のリズムを自ら生み出すことができる力を伸ばしていきたいと考えています。具体的には、自ら時間を組み立てる力、そこから遊びを広げながら創造していく力、さらに集団で思いを寄せてある目標に向かって進んでいく力、そのためにはどうしたらよいか考える力など、総合的に幼稚園生活の質を高める力です。ほと組の子供たちは7ヶ月後の小学校入学のために幼稚園生活の質を高める必要

があると思っています。これは、子供たちから考えると、幼稚園生活が1学期よりも楽しいと感じられるようになったということです。

親子運動会や展覧会、遠足、本村小学校の開校120周年記念式典への参加などの大きな行事に全力投球で取り組むことも質の向上には欠かせません。子供たちが意欲的に活動に取り組むことができるよう、私たちは支援、応援をまいります。

幼稚園は、生活のすべてが「遊び」の時間といっても過言ではありません。その学びの過程で、チャレンジする勇気を持ち、子供たち自らできることを増やして多様な力が伸びるように2学期の教育活動を進めてまいります。子供たちの瞳に輝きが増すような幼稚園生活にしていきます。今学期も保護者、地域の皆様のご理解、ご協力をお願いします。